

標準塗装仕様【塗り替えの場合】

1 コンクリート、モルタル系(リシン、タイル等)の塗り替え

工 程	塗 料 と 施 工 内 容	シンナー名	塗装方法及び 希釈率(%)	標準塗付量 kg/m ² ・回	標準膜厚 μm・回	塗り重ね可能 時間h(20℃)
素地調整	旧塗膜でハガレ部分、フクレ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。 またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧水洗浄等で除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下 塗	ビニロックエラストックフィラー 032-2105 塗装回数 1回	水	ローラー 2~5 砂骨ローラー 0~2 エアレス 5~10	0.5~1.5	—	8以上
上 塗	ダイナロックII 116-0203ベース 指定色 塗装回数 2回	016-0059 塗料用シンナー	ハケ、ローラー 5~15 エアレス 10~20	0.11~0.13	—	24以上

2 鉄部・非鉄金属部の塗り替え

工 程	塗 料 と 施 工 内 容	シンナー名	塗装方法及び 希釈率(%)	標準塗付量 kg/m ² ・回	標準膜厚 μm・回	塗り重ね可能 時間h(20℃)
素地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、フクレ部分は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜、サビなどは、電動工具、手工具で除去する。「2種ケレン」 チョーキングした面、汚れ等はサンドペーパー等で除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下 塗	ロックサビカット 061-1530 赤サビ色他 塗装回数 1回	016-0059 塗料用シンナー	ハケ、ローラー 5~10 エアレス 10~15	0.12~0.16	30	4以上 7日以内
上 塗	ダイナロックII 116-0203ベース 指定色 塗装回数 2回	016-0059 塗料用シンナー	ハケ、ローラー 5~15 エアレス 10~20	0.11~0.13	25	24以上

3 各種新屋根材(ベスト瓦等)の塗り替え

工 程	塗 料 と 施 工 内 容	シンナー名	塗装方法及び 希釈率(%)	標準塗付量 kg/m ² ・回	標準膜厚 μm・回	塗り重ね可能 時間h(20℃)
素地調整	旧塗膜でハガレ部分、フクレ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。 またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧水洗浄等で除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下 塗	建築用シーラー 033-3110 変性エポキシシーラー 主剤 033-3910 硬化剤 配合比(重量) 主剤4:硬化剤1 塗装回数 1回	(016-0060) ハイプライマーシンナー	ハケ、ローラー エアレス (通常希釈不要)	0.13~0.15	—	8以上 7日以内
上 塗	ダイナロックII 116-0203ベース 指定色 塗装回数 2回	016-0059 塗料用シンナー	ハケ、ローラー 5~15 エアレス 10~20	0.11~0.13	—	24以上

(注1) 塗付量は被塗物の形状、素材、塗装方法などによって多少異なります。

(注2) 上記仕様に記載されている各種下塗塗料の詳細な使用方法、注意事項は、専用カタログもしくは製品説明書をご覧ください。

(注3) 屋根材に凹凸があり不陸調整が必要な場合は、032-2111ロック屋根・瓦用サーフェサーを下塗りに使用してください。

◆使用上の注意

- 塗る面のゴミ、カビ、こけ、油分、枯れ葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 気温が低いときや、湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温及び躯体の温度が5℃以下の場合や、湿度85%以上での塗装は避けてください。
(風通しが悪い場合や湿度が高い場合は、気温が高くても乾燥時間が通常よりかかることがあります。)
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- 調色には必ず116ラインダイナロックⅡの原色を使用してください。
- 希釈には必ず016-0059塗料用シンナーを使用してください。他種のシンナーを使用すると塗料中の樹脂が破壊されて使用できなくなります。また必要以上に希釈すると、光沢、隠ぺい性が低下したりタレや色別れの原因になります。
- 異なる色を塗り重ねる場合は、24時間以上(20℃の場合)乾燥させてから塗装してください。
- 下地の種類、状態によっては、下塗りや目荒らしが必要な場合があります。
- 鉄部の塗装には合成樹脂系や変性エポキシ樹脂系のサビ止め塗料を、亜鉛メッキ鋼板の塗装には変性エポキシ樹脂系の「2液型サビカット」や「ロックエポキシハイプライマー(2液型)」または、「サビカット(1液型)」を下塗りしてから仕上げてください。ただし、亜鉛の目付量の多い素材には、サビカット(1液型)は使用できません。
- 屋外セメント系素地に段差、素穴などがある場合は、「ロックカチオンセメントフィラー」を用いて不陸調整を行ってください。
- 改修塗装の場合、素地の種類によって塗膜不良となることがあります。あらかじめ適切な処理を行い、試し塗りすることをおすすめします。
- 塗装用品の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- 高断熱型住居の外壁を塗装する場合、状況により、素地の変形、塗膜にフクレ、ハガレなどが発生する場合があります。詳しくは施工前に最寄りの営業所にお問い合わせください。
- シーリング材の上に塗装する場合、シーリング材の種類、劣化度により密着不良を起こしたり、表面が汚れてくる事があります。状況によっては、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマー」を塗装してください。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となる事があります。(例えば、一度に所定量以上塗装すると乾燥不良を起こし、塗膜に割れ、フクレが発生する場合があります。また塗付量が少ない場合や、希釈しすぎた場合、膜厚不足により塗膜不良となる事がある。)
- その他、カタログに記載されていない素地(特殊表面処理をしたサイディングボード、軽量モルタル仕上げ面等)及び塗装方法、工程で施工する場合塗膜欠陥を起こす事がありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 取扱上及び安全衛生上の注意についての詳細は、製品安全データシート(MSDS)をご参考ください。

◆引火性の危険物ですから、取り扱いの際には製品容器の注意書および製品安全データシート(MSDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。



ロックペイント 株式会社

東京営業部 / 〒136-0076 / 東京都江東区南砂2丁目37番2号 ☎(03)3640-6000 FAX (03)3640-9000
大阪営業部 / 〒555-0033 / 大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号 ☎(06)6473-1055 FAX (06)6473-1000
札幌営業所 / 〒003-0011 / 札幌市白石区中央一条4丁目3番48号 ☎(011)812-2761 FAX (011)812-9304
横浜営業所 / 〒232-0016 / 横浜市南区宮元町3-5-3 ☎(045)742-6675 FAX (045)742-6669
名古屋営業所 / 〒454-0059 / 名古屋市中川区福川町1丁目1番地 ☎(052)351-6500 FAX (052)361-7433
山口営業所 / 〒742-0315 / 山口県玖珂郡玖珂町字瀬田1600-25 ☎(0827)82-0111 FAX (0827)82-0112
福岡営業所 / 〒811-0119 / 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号 ☎(092)962-0661 FAX (092)963-1241
岡山出張所 / 〒700-0973 / 岡山市下中野705 クオリティ下中野101 ☎(086)244-9006 FAX (086)244-9006
佐賀出張所 / 〒842-0103 / 佐賀県神埼郡東脊振村東部工業団地 ☎(0952)52-8862 FAX (0952)52-1169
工場：宇都宮・八潮・富士小山・犬山・伊賀上野・大阪・宝塚・山口・佐賀 サービスセンター：枚方・福岡

ロックペイントのインターネットホームページ <http://www.rockpaint.co.jp>

販売店：